

早期リタイアは可能？ FIREの計画の立て方



会社や仕事に縛られない自由な人生を手に入れたい…そんな考えから生まれた「FIRE(ファイア)」というムーブメントが注目を集めています。FIREとは「Financial Independence, Retire Early」を略した言葉で、「経済的独立と早期退職」という意味をさしています。

日本でFIREを実現させるためには、老後に標準的な暮らしを送るために必要といわれる2000万円と、早期リタイアしてから老後を迎えるまでの生活費を用意する必要があります。「そんなの、とても無理…」と思われるかもしれませんが、ファイナンシャルプランナーの山崎俊輔さんによれば、標準的な退職年齢よりも5年早くリタイアする「プチFIRE」なら、実現性がかなり高まるといいます。

では、具体的にどうすればプチFIREを実行できるのか、その計画の立て方を山崎さんに教えてもらいましょう。

1. プチFIREをするための必要額を算出する

現時点の標準的な退職年齢である65歳から5年早い60歳でのプチFIREを実現させる場合、老後の資金である2000万円に加えて、60～65歳までの5年間の生活費があれば、早期引退ができます。夫婦2人の生活費を仮に年400万円とした場合、5年分で2000万円となります。老後のための2000万円と合計すると、単純合計で4000万円が必要になります。余裕を見て、5000万円(①)程度用意できるといいでしょう。

2. 退職金や企業年金で受け取れる金額を①から差し引く

八割の企業には退職金制度があります。ひとつの会社で新卒から定年まで勤め上げた場合、中小企業の退職金水準は500～1000万円前後、大企業は2000万円程度の退職金が期待できます。水準は各社ごとに大きく異なるので、自分の勤める会社の退職金制度や企業年金制度について、よく調べておきましょう。退職金や企業年金で受け取れる金額を、①の金額から差し引くと、プチFIREするために自力で蓄えなければならない金額が算出されます。

3. iDeCoとつみたてNISAを満額積立した場合の資産をシミュレーションする

私的年金制度のひとつであるiDeCo(個人型確定拠出年金)や、国民の資産形成を後押しするために創設されたNISA(少額投資非課税制度)は、税制優遇があり、FIREのための資産形成に積極的に利用することがおすすめです。iDeCoの場合、企業年金のない会社員の場合は満額で月2.3万円積み立てることができます。NISAには一般NISAとつみたてNISAがあります。つみたてNISAの場合、年40万円の枠があるので、月3.3万円積み立てることができます。この2つを合計すると、年間67.6万円を積み立てることができます。これを22歳から60歳まで続け、シンプルな分散投資によって年4%の収益確保ができた場合、合計で6018万円となり、プチFIREに必要な費用をまかなうことが可能です。30歳から積立を開始した場合でも、最終受取額は3910万円となるので、退職金等を加味すればプチFIREは実現可能といえます。30歳代半ば、あるいは40歳以降から積立を開始する場合は、積立期間が短いために必要額に届かない可能性もあります。その場合は夫婦それぞれが口座を開設し、ダブルiDeCo、ダブルつみたてNISAで積立投資をしてください。40歳から20年、夫婦が満額の積立をすると4132万円となります。

以上のシミュレーションでプチFIREが実現できるめどが立ったら、さらに5年早くリタイアする場合、10年早くリタイアする場合…というように、早期のFIREもシミュレーションしてみましょう。もしかすると、もっと早いリタイアを実現できるかもしれません。何歳でリタイアができるか見通しを立てると同時に、リタイア後はなにをしたいのかをイメージすることも大切です。

FIREについて考えることは、リタイア前とリタイア後の人生をどのように生きたいのか、自分の理想のライフスタイルについて真剣に考えることでもあると山崎さんはいいます。将来の選択肢のひとつとして、FIREについても考えてみてはいかがでしょうか。

監修 山崎俊輔さん

ファイナンシャル・ウィズダム代表。ファイナンシャルプランナー、消費生活アドバイザー。1972年生まれ。中央大学法学部卒。企業年金研究所、FP総研を経て独立。退職金・企業年金制度と投資教育が専門。わかりやすく読みやすいお金のコラムが人気で、Yahoo!ニュース、日本経済新聞電子版、マネー現代、プレジデントオンライン等、月20本以上の連載を抱える。著書に『普通の会社員でもできる 日本版FIRE超入門』(ディスカヴァー・トゥエンティワン)、『大人になったら知っておきたいマネーハック大全』(フォレスト出版)等がある。

<http://financialwisdom.jp>